



働き方と暮らし方の未来とは？

経営管理研究科
教授 木谷 宏（きたにひろし）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1474号室
Tel 082-251-9789
E-mail hkitani@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： 人事管理論、ダイバーシティ・マネジメント
ワーク・ライフ・バランス、リーダーシップ
キーワード： 経営学、人的資源管理、ダイバーシティ、女性活躍推進、CSR（企業の社会的責任）、働き方改革

（基盤研究 A 32606-04-1-3701-0001 研究代表者：脇坂明）の研究分担者として5年間の研究を終えた。これは各種調査を通じてWLBを実現する企業の施策、制度、雇用システム、体制を総合的に捉え直したものである。

● 現在の研究について

大学時代（東京大学経済学部経済学科）における経済学および高橋彰先生のゼミでの開発経済、米国ビジネススクール（The George Washington Univ.）におけるビジネス理論、20年以上の企業実務（大手食品企業）におけるマーケティング、人事管理、経営企画がベースとなり、大学院博士後期課程（中央大学大学院総合政策研究科）では人的資源管理を研究テーマとした。中でも成果主義の導入と運用が組織にもたらす課題に着目し、複数の学会発表や論文執筆を行った（「企業における成果主義導入の実証的研究」など）。学界へ転じた後は、学習院大学経済経営研究所にて「ワーク・ライフ・バランス（WLB：仕事と生活の調和）指標」の開発に携わり、東京都や日本看護協会など数十施設の調査研究を行い、WLBの意義と課題について論文、著作、講演、省庁委員会等を通じて社会へ発信した（「看護職員のワーク・ライフ・バランスと人事管理」など）。

さらに企業の社会的責任（CSR）、公正な人事管理（成果主義）、多様な働き方（WLB）の関係に注目し、これらの連動が多様な人材を管理する上で不可欠として、人的資源管理を社会の視点から再編する研究を行った。この内容を博士論文にまとめ、学位を取得した（「人的資源管理論の限界と「社会的報酬」に基づく人事管理の再構築ーポスト成果主義と人材多様性に向けて」）。

最近では、科学研究費助成事業「ワーク・ライフ・バランスを実現する企業支援システムと雇用システム」

● 今後進めていきたい研究について

働き方と暮らし方の未来を模索するテーマとして、ひとつは副業や兼業といった「パラレルキャリア」の実態と今後の姿について県内企業及び従業員への調査に基づく提言を行う（中国経済産業局、ちゅうごく産業創造センターと協働）。もうひとつは「治療と仕事の両立支援」に関する企業における取組みの枠組みを示し、取組み状況の診断指標を開発するとともに関係者間の連携モデルを構築する（労災疾病臨床研究事業に申請中）。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

引き続き厚生労働省、自治体、各種団体との働き方改革に関する研究を継続し、広島県及び広島市とは「雇用推進会議専門部会」「働き方改革推進・働く女性応援会議」「治療と仕事の両立支援研究会@ひろしま」「広島市男女共同参画審議会」等を通じた連携を強化していく。

● これまでの連携実績

厚生労働省 治療と職業生活の両立支援事業 実施委員会座長、柏市 柏市版事業仕分け委員会委員長、東京都 第四期東京都男女平等参画審議会委員、鳥取県 鳥取県政アドバイザースタッフ、中央職業能力開発協会 ビジネス・キャリア検定試験「人事・人材開発」主査、ほか。